

令和2年度 越前市味真野小学校スクールプラン

教育目標

校庭の桜のように、元気で優しくたくましい味真野の子を育てる

めざす子ども像

○よく考え、進んで学ぶ子 ○みんな仲良く、優しい子 ○健康でたくましい子 ○最後まで取り組む子

重点目標

確かな学力

- 対話を通して学び合う子を育てる。
- 基礎学力の定着を図る。
- 読書活動・NIEを推進する。

豊かな人間性

- 人権を尊重した温かい人間関係づくりに努める。
- 主体的に社会とかかわろうとする態度を育てる。
- 夢や希望を持ち、その実現に向け、最後まで諦めずに取り組む態度を育てる。

健康な体

- 生涯にわたり健康な生活が送れるように、規則正しい生活習慣を身につける。
- 粘り強い心を育て、体力をつける。

地域と共にある学校

- 地域の未来の姿を見据え、地域と連携した学校づくりに努める。
- 地域と連携した安全・安心のための取組を行う。

本年度の主な取組

- 「考える時間」を設定し、隣同士やグループ内だけでなく、全体の場でも意見交換が活発になるように授業展開や発問を工夫する。
- ◎「表現」を意識した課題や発問を通して、自分の思いや考えを的確に伝えるための手立てを工夫する。
- 漢字の意味や使い方について丁寧に学習して漢字力の定着を図る。
- 読書活動の時間を確保するとともに、家庭での読書推進を保護者に働きかける。
- 新聞を活用した学習の継続(NIEの日常化)により、書く力・伝える力・言葉の力・社会性を伸ばす。

- 学校内外での交流活動や縦割り班活動を通して、「いつでも、どこでも、誰にでも」明るいあいさつや声かけができる子を育てる。
- 人権カードに定期的に取り組み、学校生活全般において人権意識を高められるような機会を増やす。
- 教育相談体制の充実により、いじめ・不登校の未然防止・早期対応に努める。
- ◎道徳や学級活動等を通して、自己有用感を高めると共に、なりたい自分を目指すために大切なことを話し合う機会を増やす。

- ◎スマイリーカードの取組の継続により、望ましい生活習慣を定着させる。
- 前年度の記録をもとに自分の目標を持たせ、達成のための支援をする。
- ボールなどの道具を増やし、クラスや委員会ですらに体を動かす遊びを奨励したり、声掛けを工夫したりする。

- 地域の人材や地域の特徴を生かす取組を、どの学年も1教材以上取り上げ、計画的に実践する。
- ◎地域のよさを学び、それを生かす体験活動を通して、自分の将来について考え、夢を抱く児童を育てる。
- 便り・HP等で情報を積極的に発信して、保護者や地域に学習活動を伝える。
- 情報モラルを意識し、家庭と連携して「わが家のインターネット10カ条」を推進する。

数値目標

- 友だちの意見を聞いて、自分の考えを述べられる児童【80%以上】
- 基礎的な学習が理解できている児童【80%以上】
- 読書活動・NIEを推進する教師【80%以上】

- ほかの子を尊重し、仲良く助け合おうとする児童【90%以上】
- 自分から先に大きなあいさつをし、感謝の言葉を素直に伝えられる児童【90%以上】
- 学校へ来るのが楽しいと感じられる児童【90%以上】

- 早寝、早起き、朝ご飯、テレビ・ゲーム・パソコン(スマホ)の時間を守っている児童【80%以上】
- 進んで体力向上に努める児童(マラソン、縄跳び、体を動かす遊び)【80%以上】

- 地域の良さを活用した取組を計画的に取り入れる教師【各学年1教材以上】
- たよりやHPによって学校の取組を理解している保護者【80%以上】
- 「わが家のインターネット10カ条」を守っている家庭【80%以上】

校内研究では次のテーマのもとに教材研究を深め、指導力向上に努めます

研究テーマ

「きたえよう発信する力 ～思いや情報を的確に伝えられる子～」

「学校における働き方改革」に関して次のことに取り組みます

- ① 水曜日をノー残業デーとし定時に退勤、その他の日も遅くても19時までに退勤する
- ② 愛育会の会議を19:00に開始し、会議の効率化を推進する
- ③ 県校務支援システムの積極的活用による事務の効率化を図る
- ④ 時程を見直し、勤務時間内で作業時間を確保する